


名前	梶本 麻未(カジモト アサミ)	
所属	神奈川大学 総合理学研究所	
職種・学年	客員研究員	
実験動物	フクロムシ(寄生性甲殻類)	
好きな実験	フクロムシ幼生の飼育と染色体観察	
趣味	ドライブ, 睡眠, ゲーム(ビジュアルノベル・TRPG)	
Homepage	https://researchmap.jp/akajimoto	
ひとこと	フサフクロムシの蠕動運動、一生みれる	
研究紹介	カニやヤドカリなどを宿主とするフクロムシの性比は季節によって極端に変動します。そのメカニズムの解明を目指して、野外調査とゲノム解析を組み合わせたアプローチからフクロムシの性決定・性分化・性比調節機構を研究しています。	
トピック1: 研究の魅力	全然上手くいかなかった実験が、少しの工夫で結果が出るようになったとき、脳汁ドバドバです。いつもだと寄生率の低いフクロムシがたくさん採れたとき、助成金の採択結果をみるときもドバドバです。つまり、ずっと興奮できます。	
トピック2: 目標	ヤドカリ類に特異的に寄生するフサフクロムシの性決定機構が他の生物では見られないユニークなシステムであることを発見しました。本種の幼生の雌雄RNAseqから複数の内分泌経路が雌雄特異的な形質発現に関与していることがわかってきたので、これからホルモンの研究を進めていきます！	



洞長をはいて、ヤドカリを200-400個体採ります。

宿主ケアシホンヤドカリと寄生者フサフクロムシ(赤丸)
↑ヤドカリの殻をハンマーで叩き割って、フクロムシの存在をみます。

エキステルナを割いて卵・胚を採ったり、出てきた→幼生を飼育したりしています。

